

# 大ケヤキ

学校だより「第31号」  
平成28年12月2日発行  
高田中学校長 野内 昭

## 学校保健会年間テーマ

### 『子どもとメディアⅣ』

#### ～つづめSNS～

最近本校で、SNSなどによるトラブルが発生したという話は耳に入ってきました。せんが、特に、LINE、Twitter、FacebookなどのSNSは、学校でのトラブルのほぼ全てに関連しています。

『学校保健』11月号では、「いじめとSNS」というテーマで、その現状と対策について、次の3つの観点から述べています。

1. 悪意のない加害者、  
悪意のない被害者
2. 暴力的ないじめから、  
陰湿ないじめへ
3. スマホの問題は心の問題

今回から何回かに分けて、それぞれ具体的な内容を紹介し、この問題についてまた、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

#### 1. 悪意のない加害者、 悪意のない被害者

このことが、最近のネットいじめの特徴だということです。

ガラケー時代のネットいじめは、いわゆる学校裏サイトやネット掲示板等で行われていました。多くの場合、加害者は、被害者のページに匿名で悪口等を書きます。加害者は、もともと明確な悪意を持っていました。

しかし、最近のネットいじめは、加害者に明確な悪意がない場合が多いということです。最近の子どもたちが利用しているのはLINEやTwitterで、LINEやTwitterは、日常的に会話するようにやり取りをしています。そのやり取りの中で、悪意なく、悪気なく結果としていじめの加害者、被害者になってしまうそうです。例えばというところで、次のような事例を紹介しています。

ある日、小学生の花子(仮名はLINEで、友達からもらったぬいぐるみを褒めるつもりで「かわいくない」と書き込みました。これなどが典例です。本人は「かわいいでしょ？」つもりですが、彼女の投稿には「？」がなかったため、みんなに否定的に取られてしまい、いじめのきっかけになりました。悪意のない発言がきっかけに被害者になり、悪意のない人が加害者になっていきました。

子ども達のトラブル修復能力は悲しいくらい低く、この例の場合は花子が「みんな何を怒っているの？」と聞いたらすぐに誤解が解けます。また、昔のクラスには「それどういう意味？」とか「私がかわいいと思うよ」とかの助け船を出す子が必ずいました。今の子はトラブルに巻き込まれることを恐れてか、そういうことはしないため、こんな些細なことをきっかけにいじめに発展してしまうそうです。

この例から考えたいことは、LINE等でやり取りの場合にはその表現の仕方を十分に考え、送信するときに十分注意しなければ誤解されるということ、できれば、面と向かい合って文字言語でなく音声言語で会話することの方が大切ではないかということです。お子さんと話し合ってみてはいかがでしょう。 (つづく)

## 昨日から

### 『師走』!!

#### ～今学期も残り3週間!～

昨日から『師走』に入りました。平成28年も残り4週間となり、2学期も2週間後には終業式を迎えます。そして、23日(金)からは生徒の皆さんが楽しみにしている「冬休み」を迎えることとなります。

『師走』は、『師』が『走る』と書き、一説には「お坊さん」や「教師」が忙しく走り回る月だという意味もあるそうです。先生方は12月だけでなく毎月忙しいですが、12月は年末を控えていつもの月よりもさらに気ぜわしくなるということでしょうか。そうすると、この1ヶ月はあつという間に過ぎ、すぐに平成29年を迎えるということになります。

そこで、前号でも書いたように、期末テストが終わったからといってのんびりしてはいられません。冬休みを迎えるまでのこの期間をいかに過ごすかが非常に重要になります。

ところで、この期間の目標を設定することができたでしょうか。どのような目標を設定して学校生活を送るかが、その後の冬休み、さらには3学期に影響を及ぼしますので、まだ設定していない人は、この土、日曜日の間に設定してほしいと思います。

特に3年生の皆さんにとっては、本日先生方による第1回調査書作成委員会を開催しましたので、入試に向けた実質的なスタートを切りました(1期選抜や私立の入試に関する内容です)。いよいよ始まりましたよ。

また、1、2年生の皆さんにとっても来週の月曜日(5日)に「計算力オープンテスト」、12日(月)に「計算力コンテスト」が行われます。

設定した目標達成のために、『師走』の1ヶ月間の頑張り、努力に期待したいと思います。お家の皆様のお励ましをお願いします。